

事務事業名	真岡市消防団事業			担当	市民生活部 安全安心課 消防防災係		
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり		電話番号	0285-83-8396		
施策名	7	防災対策の充実強化		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画	真岡市地域防災計画			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	消防組織法				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和23 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	9. 消防費	1消防費		2非常備消防費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	非常勤特別職地方公務員として、消防団長の指示により、消防団員が消防職員と連携をして、水害・火災又は地震等の災害を防止し、これらの災害による被害を軽減する活動を行っている。この消防団の事務を市が行うことにより団の運営を円滑にし、地域の防災体制の強化を図り、市の消防力を向上させるものである。真岡市消防団定員500名、団本部、第1分団5個部、第2分団3個部、第3分団3個部、第4分団3個部、第5分団3個部、第6分団4個部、第7分団3個部						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 28年度実績 消防団の活動：火災出場、消防操法大会、夏季点検、出初式、各種訓練参加、団員の福利厚生、消防団関係施設設備管理等 29年度計画 女性消防団の募集を図る。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	ア 出動回数（火災）	件	24	26	23	17	23
	イ 出動回数（水防等）	件	3	4	3	1	3
	ウ 事業の開催数	回	3	3	3	3	3
エ							
オ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市民、消防団員	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	ア 市民の数（4月1日現在）	人	80,929	80,698	80,590	79,462	79,542
	イ 消防団員数	人	486	481	485	490	510
	ウ						
エ							
オ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 消防団活動と消防防災施設・設備の充実強化を図る。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	ア 消火件数	件	24	26	23	17	23
	イ 警戒・捜索件数	件	3	3	3	0	3
	ウ						
エ							
オ							
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 安全・安心なまちづくり。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	ア 安全安心なまちと考える市民の割合	%	66.1	70.0	72.4		
	イ (市民意向調査)						
	ウ						
エ							
オ							

(2) 総事業費の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	72,514	73,088	72,173	74,498	87,827
	事業費計(A)	千円	72,514	73,088	72,173	74,498	87,827
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	5,590	5,590	5,590	5,590
		人件費計(B)	千円	22,718	23,595	23,422	23,215
トータルコスト(A)+(B)		千円	95,232	96,683	95,595	97,713	111,042

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	消防組織法にもとづき、消防団設置が義務付けられた。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	社会情勢等の変化により、消防団への加入者数が減少している。 消防団員の確保のため、平成21年度入団資格の年齢上限・居住制限を撤廃した。 平成31年度に栃木県防災訓練があり、女性消防団にも協力をお願いします。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	消防団員確保が困難な状況にあり、公務員などに対して団員としての加入を促すよう要望がある。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民の生命・身体・財産を、消防団が火災や自然災害から防御することにより、安全・安心のまちづくりに寄与している。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民の安全・安心を確保するのは市の責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市民の生命・身体・財産を火災や自然災害から防御し、それら災害による被害を防止している。 上記の対象・意図を遂行するために、消防団の訓練、消防防災施設・設備の充実強化を行っている。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 適正な消防団活動を行っている。 女性消防団を組織し、消防防災の意識向上を図る。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 市民の生命・身体・財産を守る消防団の設置は市の義務である。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 消防団の運営に必要な最低限の事業費である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 人件費は必要最低限である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担は無い。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							